

令和7年度 講座実施報告書

講 座 の 名 称	“あいとぴあ”さんかくセミナー第2回「人生100年時代の男女共同参画」		
講 座 の 目 的	日本社会が直面する少子高齢化、若者や女性の地方からの流出、経済の停滞といった深刻な課題に対し、ワークライフバランスや男女共同参画の視点から、解決策を探り、誰もが活躍できる社会の実現に向けて学ぶ機会とします。		
募 集 対 象	長野県在住・在勤・在学者		
定 員 人 数	・オンライン 80名 ・パブリックビューイング会場 (長野市16、須坂市30、飯山市50、富士見町60、中川村30、木祖村50)	申込人数	・オンライン 45名 ・パブリックビューイング会場 計34名 (長野市11、須坂市3、飯山市6、富士見町1、中川村9、木祖村4) 合計 79名 (後日配信51名)
申 込 方 法	ながの電子申請サービス、電話、メール		
託 児	希望者なし		
回 数	1回		
開 催 場 所	オンライン(Zoom) *後日配信あり パブリックビューイング会場 (長野市、須坂市、飯山市、富士見町、中川村、木祖村)		
日 時	9月27日(土) 13:30~15:30		
講 師	山田 昌弘さん 中央大学文学部 教授		
開 催 内 容	講義 「人生100年時代の男女共同参画」		
参 加 者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・講演を聞き、男女共同参画の遅れが様々な社会問題につながっていることを痛感しました。世代交代を待つのではなく、社会制度の改革など、男女共同参画に向けた取り組みを進める必要性を感じました。 ・今日お聞きした内容を日本人みんなで本気に取り組んでいかなければ、手遅れになると感じました。 ・長い期間で少しづつ変化していることが理解できました。その時代に生きている人がどのように感じ、変化を求めることが大事だと思いました。 ・思っていた以上に若い女性が生きづらい世の中であることを知りました。若者が都会に出て行ってしまう理由もうなづけます。社会保障制度は考えて行かねばと思いました。 ・地方における女性活躍の難しさの実態が伝わってきました。 		



講 師



長野市会場



飯山市会場



中川村会場



須坂市会場



富士見町会場